

科目名称	子どもの作業療法基礎
授業コード	AE269
英語名称	Foundation of Occupational Therapy Theory Pediatrics
学期	2024年度後期
単位	2.0
担当教員	大西 正二
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	本科目では、発達障害領域の作業療法で対象となる代表的な疾患・障害について学び、人間発達学で学んだ知識を基に、その障害が子どもの発達に及ぼす影響について理解する。
科目に関連する実務経験と授業への活用	発達障害領域の作業療法士として、乳児期から高齢期までの実務経験を活かして講義する。
到達目標	カルキュラム・ポリシーにおける「人体の構造と機能及び発達、疾病、障害の成り立ちと回復過程および保健医療福祉とリハビリテーションの理解などから作業療法の基礎知識を学ぶ」が実現するよう、発達領域の作業療法に必要な基礎知識を身につける。 子どもの作業療法学を通し、発達期における代表的な疾患・障害について学び、子どもの作業療法の実践に生かすための基礎知識を築くことを目標とする。
計画・内容	<p>第1回 子どもの作業療法の概論（運動発達）</p> <p>第2回 子どもの作業療法の概論（感覚・認知・言語の発達）</p> <p>第3回 子どもの作業療法の概論（ADL・遊び・社会適応の発達）</p> <p>第4回 知的障害（精神遅滞）</p> <p>第5回 脳性麻痺（概説など）</p> <p>第6回 脳性麻痺（乳児期から高齢期までのライフステージによる変化など）</p> <p>第7回 重症心身障害</p> <p>第8回 筋ジストロフィー症</p> <p>第9回 二分脊椎</p> <p>第10回 自閉症スペクトラム障害</p> <p>第11回 注意欠陥多動性障害</p> <p>第12回 発達性協調運動障害</p> <p>第13回 学習障害（読み障害）</p> <p>第14回 学習障害（書き障害）</p>

計画・内容	第15回 まとめ
授業の進め方	パワーポイントを使用した授業形式で、映像資料などを適宜使用する。
能動的な学びの実施	理解を深めるために、必要に応じて実技やグループワークを行う。
授業時間外の学修	授業前にあらかじめ教科書に該当箇所を目を通しておく。(各回1～2時間) 授業後は、教科書、テキストを関連づけて自分の講義ノートを整理する。 (予習復習を合わせて合計60時間)
教科書・参考書	【教科書】 新田収・笹田哲・内昌之, 知りたかった! PT・OTのための発達障害ガイド, 金原出版, 2012. 【参考書】 長崎重信, 作業療法学ゴールド・マスター・テキスト発達障害作業療法学第3版, メジカルビュー社, 2021. 笹田哲, イラストと動画で学ぼう! 人間発達学, 診断と治療社, 2023. 田村良子, 作業療法学全書 [改訂第3版] 第6巻作業治療学3発達障害, 協同医書, 2010. 前垣義弘・小倉加恵子, 標準理学療法学・作業療法学専門基礎分野小児科学第6版, 医学書院, 2023.
成績評価方法と基準	各授業後の小テスト(40%) + 最終回の授業における評価課題(60%)
課題等に対するフィードバック	リアクションペーパーにおける質問については、次回の授業開始時にフィードバックを行う。 (各授業後に実施する小テストに質問欄を設ける予定)
オフィスアワー	CampusSquareを参照
留意事項	発達の領域では対象者の発達レベルや障害の原因を正確に評価する必要があります。 子どもの作業療法を通して、代表的な疾患の知識を習得しておくことが重要です。
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	授業の進め方 1. 各授業をオンラインもしくはオンデマンドで配信をする。 2. 各授業後に課題を提示する。 成績評価方法と基準 各授業後に提示した課題: 100%